

研究職員（任期付任用）募集要領

農林水産省農林水産政策研究所では、標記研究職員の募集を行っております。

任期付任用は、国家公務員総合職試験では適任者が得られない特別の知識、能力又は技術を必要とするポストについて、期間を限定して優秀な人材を採用するために行っているもので、今回の採用予定ポスト、募集条件、選考採用試験要領は下記のとおりです。

記

1. 採用予定官職及び研究業務内容とキーワード

農林水産政策研究所任期付研究員 2名
(詳細は別紙のとおり)

2. 応募条件

- ① 博士課程修了者又は修了見込者（採用予定日前に博士課程を修了し、学位取得が可能な者）
- ② 研究職員として採用予定ポストの研究課題を担当するために必要な知識、能力又は技術を有する者

3. 提出書類

- ① 履歴書（市販のA4版用紙に手書きし、写真を貼付すること）
- ② 研究業績報告（所定の様式に従って研究課題、背景、方法、成果、成果の評価、発表論文等を記載）
※様式及び記載方法は別紙のとおり
- ③ 主要な論文、著書等3点を各3部（コピー可）
ただし、単著又は筆頭著者のものに限ります。
- ④ 応募する仕事に対する抱負（A4版1枚）
- ⑤ 事務連絡用E-mailアドレス（書類受理通知等）

なお、提出書類は返却しないので、予めご了承願います。

4. 書類提出先

〒100-0013
東京都千代田区霞が関3-1-1
中央合同庁舎第4号館
農林水産省農林水産政策研究所
総務部庶務課人事厚生係
※ 封筒あるいは封緘した包みの表に「研究職員（任期付任用：主要国農業戦略又は農林漁業の持続的発展）応募書類在中」と朱書し、簡易書留で送付して下さい。

5. 応募締切

平成25年12月27日（金）（必着・締切日厳守）

6. 選考採用試験

- ① 研究業績の書類審査は、平成26年1月上旬に行われます。
- ② 書類審査の結果及び面接試験の日程等については文書により通知します。

7. 採用時期

平成26年4月1日予定

8. 給与等

一般職の任期付研究員の採用、給与及び勤務時間の特例に関する法律（平成9年法律第65号）に基づき決定。

9. 問い合わせ先

農林水産省農林水産政策研究所

・研究内容に関するもの

企画広報室 出田（いでた）

・事務に関するもの

総務部庶務課人事厚生係 岡田（おかだ）

TEL : 03-6737-9000

FAX : 03-6737-9600

採用予定官職及び採用理由

場所名：農林水産政策研究所

採用予定官職	研究課題と研究業務内容	採用予定期等
役職：農林水産政策研究所 研究員 官職：農林水産技官	<p>「主要国の農業戦略に関する研究」</p> <p>共通農業政策（CAP）の動向や日EUのEPA交渉への対応など、EUやEU各国における農業・農政に関する研究には、「主要国の農業戦略に関する研究」の中では、我が国の農業政策立案、国際農業交渉、世界の食料需給に関する情報の入手、に資することに十分留意しつつ、①農業政策・戦略の経緯や背景、②現行の農業政策・戦略と今後の展開、③我が国への影響や政策への示唆、について分析する。</p> <p>また、EU全体のほか構成各国についても交渉対応、国内政策立案対応に即して柔軟に情報収集・分析することが要請される。さらに、主要農業国である英國、ドイツ、スペイン、イタリアのうちの2カ国程度について蓄積した知見を踏まえて業務遂行できることが望まれる。</p>	<p>平成26年4月1日 から 平成29年3月31日 まで（3年間）</p> <p>公募時のキーワード：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. EU 2. 共通農業政策（CAP） 3. 農業政策 4. 交渉 5. 食料需給
役職：農林水産政策研究所 研究員 官職：農林水産技官	<p>「農林漁業の持続的な発展のための食品産業の成長戦略に関する研究」</p> <p>高齢化や就業人口の減少等に直面している農林漁業を持続的に発展させるため、国内農林水産物の主要な供給先であり、輸出を含む海外展開等により新たな発展が期待される食品産業の成長戦略について、産業連関分析等の定量的な分析手法を用いて、マクロ的な視点から分析を行う。</p>	<p>平成26年4月1日 から 平成29年3月31日 まで（3年間）</p> <p>公募時のキーワード：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食品産業 2. 成長戦略 3. 農林漁業の持続的発展 4. 世界の食市場 5. 産業連関分析

研究業績報告

(氏名) ○○ ○○ (-)

研究実施機関及び期間	研究概要	発表の時期 及び方法	共同研究者

○ 研究業績報告の書き方

石井 太郎 氏名 氏別 幸民 告

枚数 1 ページ
1 1

(氏名) 長林 太郎 (O-1)

○ 業績整理区分

1. 学会(誌)発表
学会誌掲載論文又は学会での講演要旨を整理する。

2. 公刊図書
一般に市販されている書籍に掲載された論文、総説、実用記事等を整理する。
なお、單行本や定期刊行物など図書又は雑誌の形式や発表形態で区別するものではない。

3. 論文誌発表
国、地方公共団体、公庫公団、大学、外國政府機関、国際機関等から発表された研究報告、年報などの刊行物登載論文、総説、研究資料などを整理する。
なお、企画部門等において研究紹介候付会議資料、研究推進構想資料等を任務として取りまとめ発表したものも含む。

4. その他
上記以外のもので、研究業績をもとに取りまとめ、成績又は資料として発表又は公開されたものを整理する。

例 特許実用新案
新聞記事
農業技術の普及資料
研修テキスト 等

○ 業績整理順

各区分内の業績記載順は、学会誌や所報告のような重要度の高いもの最先に記載し、口頭発表等は、その後に記載すること。

注意事項

- 同一業績を学会誌に掲載後、機関誌に掲載した場合は主要な方面で区分してダブル記載しない。
- 主任担当者の印については共同研究者の中で良い悪いのないよう注意すること。
- 学術用語については、事務担当者が理解できるよう別紙により解説すること。
- 左の余白を20mm以上とること。

研究実施機関及び期間	研究業績	発表の時期及び方法	共同研究者
○○○○研究所 昭和〇年〇月〇日 至平成〇年〇月〇日	1.に関する研究 (研究の背景) (テーマ年に記入) ①について記載 (研究の方法) () ②について記載 (研究の成果) () ③について記載 (研究に対する評価) () .	研究業績は、優れて重要度の高い順から記載し、一連で数多くある場合は、それらの業績を総合または集約したテーマをつける。 なお、テーマ等に新しいページにする。	
○○○○研究所 自平成〇年〇月〇日 至現在			
海外における研究 期間がある場合		① 研究の目的は何か ② 研究方法の創造性などを明記する。 ③ 成果 (各200~300字程度) (ア 新しい技術開発 イ 新有用物質や現象の発見 ウ 新改良品種の育成等 エ 新理論の確立 オ 実験手段、測定方法等の創案 カ 有用データの収集、解析、考察)	
科学技術庁○在外研究員として ○○○○国 ○○○○研究所 自平成〇年〇月〇日 至平成〇年〇月〇日			
(学会(誌)発表)	1)に関する研究について [. . . .] タイトルが同じ場合はサブタイトルを付けるか、解説を加え多いものはきりとする。 2)について (講演要旨)について [. . . .] 3) abcdefg hijk lano pqrst (.) 外国語の場合は和訳する。 4) [. . . .] 投稿中の場合はその旨記載し、発行予定期月及び巻号を記載する。 なお、必ず受理書を添付の事。	平成〇年〇月 ○○学会社事〇巻 P〇〇~〇〇	○農林 太郎 「山田 二郎」 共同研究者は、発表誌の登載欄に記載し、主任担当者に〇印を付ける。 なお、単独発表の場合も必ず本人の名前を記入し、〇印を付ける。
(公刊図書)	1)について [. . . .] 公刊図書の場合には誌名及び発行元を記載する。	平成〇年〇月 「〇〇の〇〇」 (〇〇室) P〇〇~〇〇	○農林 太郎 山田 二郎 A.B.Cdefgh カタカナ)
(機関誌発表)	1) 2) 3)		
(その他)	1) 2) 3)		

(1)

(2)

(3)

(4)

- 4 -

共同研究者

農林 太郎
山田 二郎

農林 太郎

農林 太郎
A.B.Cdefgh
カタカナ)

主任担当
業績数

〇〇点(〇〇)

〇〇点(〇〇)

〇〇点(〇〇)

〇〇点(〇〇)

合計
学会(誌)発表
公刊図書
機関誌発表
その他の